

# 学校だより 武石っ子

上田市立武石小学校 H30.11.27



## 校長講話より

### 敬・和・友・信 組にこめられた願い

～平成30年11月7日 武石小学校校長講話より～

一学期のこの時間に、武石小学校のクラスの名前がなぜ「敬・和・友・信」組なのか、誰が、いつつけたのか、また歴代校長先生方はどんな願いをもっておられたのか、皆さんに調べてほしいとお願ひしましたところ、それぞれのクラスで話し合ったり、家庭や地域の方に取材したりしてくれた皆さんもいて、大変嬉しく思いました。私もいろいろ調べました。今日は皆さんと共に、敬・和・友・信組のことについて、解き明かしていきたいと思います。

まず、いつ、だれが、敬和友信組と名付けたのかについてです。

昭和19(1944)5月から使われていたこの「武石国民学校職員会日誌」の中に、そのことが記録されていました。

昭和22(1947)年、戦争が終わった直後の、4月3日の職員会で、「組名について話し合う」とあり、松竹梅、東中西、雪月花、敬信和、いろは、ABC、天地人、梅桃櫻と、たくさんの候補名が挙がったようです。

しかし、「この日には結局決定を見ず、明日までの宿題とす」とあります。その翌日の4月4日、午後1時より前日のつづきにつき打ち合わせ会、組名 投票により、敬、信、和に決定と書かれています。

昭和22(1947)年度の学校日誌にも、昭和22年4月4日、組名決定 敬和信 とあります。敬和信については、この年のこの日に、当時おられた先生方の投票によって決定したのです。そして、組名が決定したその4日後の4月8日に、第29代校長柴田勇先生が着任されます。それでは、もう一つの名前、友組についてはどうなのでしょう。

敬和信組でスタートしたその翌年、昭和23年3月31日の学校日誌に、組名 信組を友組と改名する件 承認決定とあります。この日に、何らかの理由で信組はなくなり、その代わりに友組が誕生したのです。

こうして、その後71年間ずっと、武石小学校ではこの敬・和・友・信をクラス名として大事に受け継いできたのです。

それでは次に、この敬・和・友・信に込められた願いとは、何だったのか、皆さんと考えたいと思います。平成30年6月20日現在、武石小学校の敬・和・友・信組で学習している皆さんの考えをまとめました。

○敬は、相手を立派だと思って大切にすること。 ○和には、人々が仲良くまとまっている様子で、争いを止めて、仲直りをするという意味もあるんだ。 ○友には、仲良く助け合うという意味があるんだ。 ○信は、信じて、頼りにすること。

当時の先生方は、このような願いを込めてこれらの名をつけたのではないだろうか。 71年後、今ここにいる武石小の皆さんがそれぞれの考えを出し合い、話し合い、書きつづけてくれました。本当にありがとうございます。今日、全てを紹介することは出来ませんが、こんな風にまとめてくださった人がいます。

敬、和、友、信すべてに「人を大切に」という意味がある。人を立派だと思って尊敬する。人との争いを止め、仲良く助け合い、人を信じて、頼りにする。

これは、今の私たちだと思う。71年前の先輩だけじゃなくて、今ここにいる私たちこそが、大切に考えなければならぬことだと思う。今の私たちに向かって、当時の先生たちがおっしゃっていることだと思う。私たちが、敬和友信の心を大切にしなければならないと思う。そう書いてくださった皆さんがいます。本当に嬉しく思います。

そして、皆さんの願いです。

○和組を残してほしいです。 ○4つの組がこれまであったのに、なくすのはもったいないです。 ○25人以上で2クラスにして、和組を残したらどうでしょう。 ○和組と敬組を交互にしていくといいと思います。 ○1～3年の低学年を和組、4～6年の高学年は敬組でどうでしょう。 ○次の一年は和敬組にしたらどうですか？

素敵な提案をありがとうございます。敬和友信組の伝統を守るために、今ここにおられる先生たちと話し合っ、来年からの新しいクラス名を決めたいと思います。

今週からなかよし旬間が始まっています。「人を大切に武石小」の伝統を守るために、それぞれがしっかり考え、行動しましょう。



